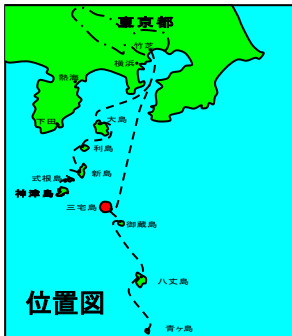


火山砂防激甚災害対策特別緊急事業の効果

火山地域における土砂災害対策の推進

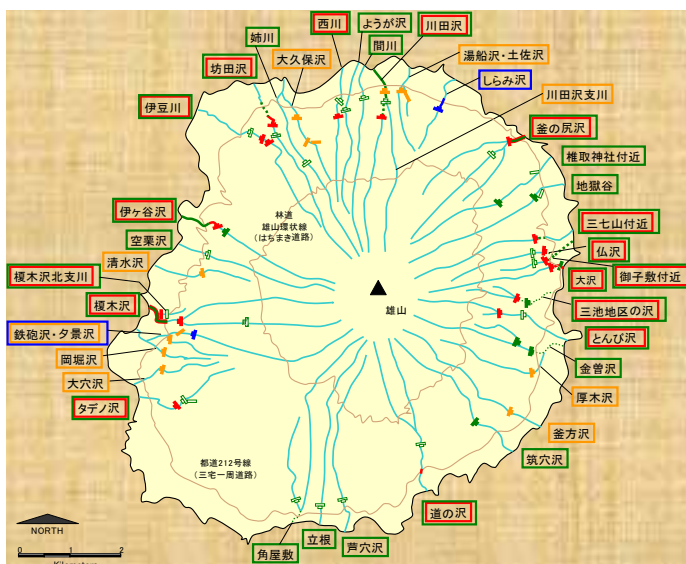
緊急火山防災対策の推進 〈 東京都 三宅島 三宅村地区 〉



事業概要

平成12年7月に始まった三宅島雄山の噴火により流域内に降灰がもたらされ、それが流下することによって下流で泥流災害が発生し公共施設等が、甚大な被害を受けた。

三宅島はおおよそ20年に1度の割合で噴火を繰り返している火山であるため、将来的にも平成12～13年に発生している泥流災害を繰り返す可能性が高い。下流の泥流氾濫想定区域内には人家や公共施設が含まれ、それらを保全するため砂防全体計画に基づく砂防施設の整備が必要であり、**平成13年度より火山砂防激甚災害対策特別緊急事業に着手**し、事業を推進している。



H12.8.10
雄山噴火



降雨により発生する泥流から都道三宅循環線・人家・公共施設が保全され、再度発生する重大な被害の発生防止に貢献！！

下流への土砂流出を防ぎ、
災害から人命、財産等を守る



島の南東位置にある築穴沢 完成直後
(施設効果量34,000m³)



完成後1年経過で約 6,000m³ 堆砂